平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	第二外国語1(ドイツ語)(German 1)			授業コード	A030101
担当教員名	津田　克巳			科目ナンバリングコード	A20313
配当学年	2年(新課程)・3年(旧課程)	開講期	前期		
必修・選択区分	選択	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	特にありません。				
受講心得	予習は必ずしてきてください。授業には教科書のほかにノートと独和辞典をいつも持参してくだ				
教科書	田中雅敏／筒井友弥『みるみるドイツ語』(同学社)				
参考文献及び指定図書	根本道也編著『やさしい！ドイツ語の学習辞典』(同学社)、福本義憲著『はじめてのドイツ語』(講談社現代新書)、在間進著『メモ式ドイツ語早わかり』(三修社)、中島悠爾・平尾浩三・朝倉巧著『必携ドイツ文法総まとめ—改訂版—』(白水社)、中野久夫『ドイツ語が面白いほど身につく本』(中経出版)、関幸子『カタコトのドイツ語がらくらく話せる本』(同前)、岩間智子『しっかり学ぶドイツ語　文法と練習問題』(ベレ出版)、獨協大学ドイツ語教育研究会『はじめてのドイツ語＜改訂新版＞』(ナツメ社)、矢羽々崇著『ドイツ語はじめの一歩まえ』(DHC)、植田健嗣『ドイツ　トラベル事典—ドイツ個人旅行ガイド—』(郁文堂)、渡辺二郎・ネスピタール愛『やさしいドイツ語				
関連科目	第二外国語2(ドイツ語)、英語1～4、基礎学力講座1・2(国語)、文章表現基礎講座。				

授業の目的	外国語を学ぶことの意義は、母語にのみ基づいた考え方、感じ方に新しい視点を導入し、世界の捉え方に変革をもたらすことにあります。大学では中学校以来学んできた英語に加えて別の外国語を学ぶことが望ましく、それは単に専門教育にとってのみならず、教養教育の一環としても大きな意味を持ちます。この科目ではドイツ語の入門の手ほどきを行います。
授業の概要	外国語科目は本来は演習科目ですが、初めて学ぶ外国語であるため、教科書に基づいてある程度の講義を行います。一方では学生たちに発表を行わせ、授業への積極的な参加を促しま

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： 半期(または通年)の学習に関してのオリエンテーション 授業の進め方、出欠の取り方、遅刻・早退の取り扱い、試験の行い方、授業中の発表やレポートの取り扱い、質問の受け付け方法等について説明し、成績評価の方法にも	伝達事項について復習をしておく。
第 2 週 ： アルファベート;発音(1) ドイツ語のアルファベート。ドイツ語の発音(1)。原則①～③。	予習・復習:発音練習。
第 3 週 ： 発音(2) ドイツ語の発音(2)。特定の組み合わせで音が決まるもの。発音練習を兼ねて数詞、曜日、月、季節を表す語を学びます。	予習・復習:発音練習。
第 4 週 ： 語学学校の入り口で(1) 読んでみよう。話してみよう。	予習:教科書の文例の読み方と意味とを考えてお
第 5 週 ： 語学学校の入り口で(2) 練習問題(自己紹介をする、他)。	予習:教科書の文例の読み方と意味とを考えてお
第 6 週 ： 語学学校の入り口で(3) 動詞の現在人称変化①。sein / haben。定動詞の位置。	予習:教科書の練習問題を解いておく。
第 7 週 ： 語学コースの授業後に(1) 読んでみよう。話してみよう。	予習:教科書の文例の読み方と意味とを考えてお
第 8 週 ： 語学コースの授業後に(2) 練習問題(いろいろな物を紹介する)。	予習:教科書の文例の読み方と意味とを考えてお
第 9 週 ： 語学コースの授業後に(3) 不定冠詞、定冠詞、否定冠詞。名詞の性別。名詞の格。	予習:教科書の練習問題を解いておく。
第10週 ： 学生食堂に向かう途中で(1) 読んでみよう。話してみよう。	予習:教科書の文例の読み方と意味とを考えてお
第11週 ： 学生食堂に向かう途中で(2) 練習問題(いろんな人に贈り物をする、相手の持ち物を尋ねる、他)。	予習:教科書の文例の読み方と意味とを考えてお

第12週： 学生食堂に向かう途中で（3） 冠詞類。代名詞。1格でも4格でもない格＝3格。	予習：教科書の練習問題を解いておく。
第13週： 学生食堂にて（1） 読んでみよう。話してみよう。	予習：教科書の文例の読み方と意味とを考えてお
第14週： 学生食堂にて（2） 練習問題（飲み方や食べ方を表現する、自宅の家具の場所を尋ねる、他）。	予習：教科書の文例の読み方と意味とを考えてお
第15週： 学生食堂にて（3） 前置詞の格支配。	予習：教科書の練習問題を解いておく。
第16週： 期末試験 第2週から第15週までの授業内容に関する試験を行います。	予習：前週までの学習事項を確認しておく。

授業の運営方法	（1）授業の形式	「演習等形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	英語圏の他にドイツ語圏にも目を向けるようになること。
【知識・理解】	ドイツ語やドイツ語を話す国や地域に関して基礎的な知識を持つこと。
【技能・表現・コミュニケーション】	簡単なドイツ語文をきちんと発音できるようになること。
【思考・判断・創造】	ドイツ語を通して見る世界が英語を通した場合とは違った見え方がするのに気づくこと。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			**45点**	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	**45点**			
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	**5点**			
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	**5点**			

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	**評価の実施方法と達成水準の目安**
レポート・作品等（提出物）	
発表・その他（無形成果）	